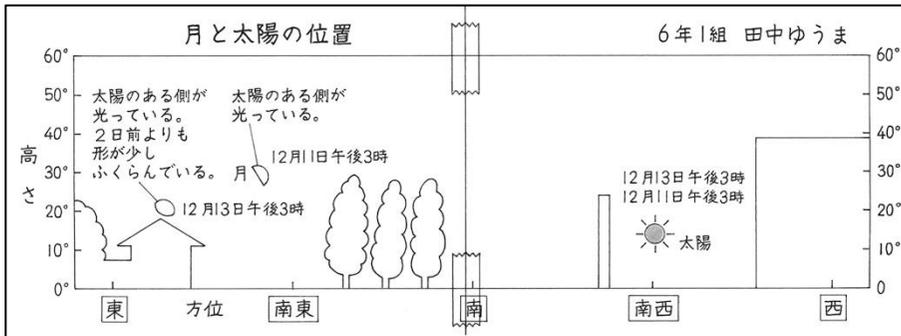
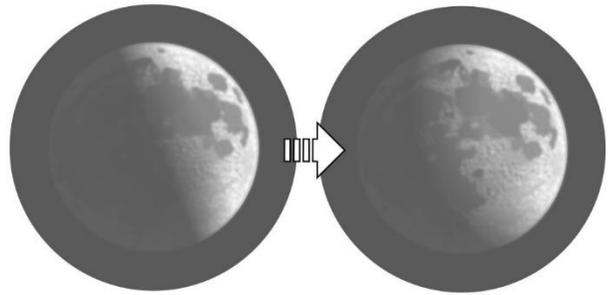


7 月の見え方と太陽

6年 組 名前 ()

観察1では、日によって月の見え方はちがいますが、月の光っている側に、いつも太陽があることがわかりました。



比べよう 2回の観察結果をもとに、月の見える形や、月と太陽の位置関係のちがいを説明しましょう。

2～3日後に観察した月は、最初に観察した月と比べて、
形が丸くなり、太陽からはなれていく。

月の見える形や、月と太陽の位置関係のちがいについて、気づいたことや、もっと調べてみたいことを書きましょう。

月の見える形が少し丸くなったのと、月の見える位置が
変わったことは、何か関係があるのか、もっと調べてみたい。

【はてな?】
問題 月の見え方は、月や太陽の位置とどのような関係があるのだろうか。

7月の見え方と太陽 実験1

6年 組 名前 ()

【はてな?】
問題 月の見え方は、月や太陽の位置とどのような関係があるのだろうか。

【予想を書こう】 月の見え方と、月と太陽の位置との関係を予想しましょう。
月と太陽の角度が大きいほど、月は丸く見えると思う。

(理由)
月と太陽の角度が大きくなると、月が丸く見えたから。

【実験の方法を確認しよう】 ボールとライトを月と太陽に見立てて、月の見え方と、月と太陽の位置関係について、自分の予想を確かめる方法を確認しましょう。

- 〈方法〉
- ①ゆかにビニルテープで円と十字を作って、東西南北の方位を書いた画用紙を置く。
 - ②観察する人が円の中心に立って、観察1で調べた月と太陽の位置関係と同じになるようにボールとライトを配置する。
 - ③部屋を暗くしてボールにライトの光を当て、観察する人からボールがどのように見えるかを調べる。

見通しをもとう

観察1で最初に観察したとき		観察1で2日後に観察したとき	
ボールの見え方	ボールとライトの位置	ボールの見え方	ボールとライトの位置

【実験1】
ボールとライトの位置関係を変えて、ボールがどのように見えるかを調べよう。

観察1で最初に観察したとき		観察1で2日後に観察したとき	
ボールの見え方	ボールとライトの位置	ボールの見え方	ボールとライトの位置

【結果から考えられることを書こう】
ふり返ろう (例：見通しのとおり、見通しとちがって、など)

見通しのとおり、モデル実験では、ボールとライトの角度を大きくすると、ボールが丸く見えたので、自分の予想は確かめられたといえる。

【結果からわかった問題の答えを書こう】
結論 月の見え方は、観察する人から見た月と太陽の位置関係によって決まり、月と太陽の角度が大きいほど、月の形は丸く見える。

【【広がる学び】】
月の満ち欠け
月は、およそ1か月かけて、地球の周りを一回りしています。月にはいつも太陽の光が当たっていますが、月は地球の周りを回っているため、地球から見ると、月の光っている部分の形が少しずつ変わって、新月→上弦の月→満月→下弦の月→新月と、月の見え方が変わっていくのです。このように、月の見え方が変わることを、月の満ち欠けといいます。